

# ケアマネ通信

## No. 45

発行：平成 31年 4月 15日

事務局：東町わたや薬局内

担当： 江口俊 吉田武士

TEL：0942-81-3039

FAX：0942-81-3053

E-Mail：hwataya@vip.saganet.ne.jp

URL：http://www.tosukaigo.com/

【協力：鳥栖地区広域市町村圏組合介護保険課】

鳥栖地区介護支援専門員協議会

事業所内での回覧をお願いします！

## 1. 会長挨拶



鳥栖地区介護支援専門員協議会 会長 赤司 利恵

新年度が始まり会員の皆様におかれましてはどのようにお過ごしでしょうか。事業所によっては異動等があつて忙しい時期と思います。幸いにも私の事業所の横の公園の桜が咲き誇りいろいろと沈みがちな気持ちを高めてくれています。しかしこの通信が発行されたときには葉桜になっているころと思いますが、次の楽しみを見出しながら、まい進してまいりましょう。又、皆様もご存知のように4月1日新しい元号が「令和」と発表になり、5月1日から訳はないのですが期待が高まる今日この頃です。(私だけ?)

さて、昨年から進めてまいりました役員の輪番制が平成31年度から開始されます。(詳しくは次の輪番制の説明に記載) 正式には5月16日の介護支援専門員協議会の総会で皆様の承認をいただいて変更となりますので、できるだけ会員の皆様におきましては総会に参加していただければ幸いです。又、この機会に会員になられていない方はぜひ協議会に参加していただき、日々の業務に役立つ研修等に参加していただきたいと思います。

朝夕が冷え込みまだ身近にインフルエンザに罹患している方が多く見受けられますので、体調に注意して新しい元号の元ご健康とご活躍を祈ります。

## 2. 2019年度からの役員輪番の順番について

昨年より説明しておりました役員の輪番制が今年度より実施する運びとなりました。趣旨については前会長からも説明があっていた通りですが、『個々の介護支援専門員が自分の仕事に誇りを持ち、介護支援専門員としての地位の向上も目指しつつ、職種間の連携を図り地域包括ケアシステムを担う一員としての役割を持つ。』目的で協議会の運営を介護支援専門員一丸となって行っていきたいと考えております。多忙なことは重々承知ですが楽しみながら活動を進めていきますので、ご下記の順番で協力よろしくお願ひします。

### A

- ① ひまわりの園居宅 ②とさくさん居宅 ③老健あおぞら ④寿楽園居宅 ⑤ケアプラン寿楽園
- ⑥ケアハウスあおぞら ⑦南風居宅 ⑧未来居宅 ⑨田代基里地区包括 ⑩けいしん居宅
- ⑪きらめき居宅 ⑫若葉弥生が丘地区包括 ⑬やよいがおかケアプラン ⑭基山地区包括
- ⑮JA福祉居宅 ⑯特老寿楽園 ⑰特老ひまわりの園

### B

- ① 有料百楽仙 ②鳥栖市中央居宅 ③セントポーリア居宅 ④有料南風Ⅱ ⑤まごころ医療館居宅
- ⑥真心の園居宅 ⑦老健寿夢の郷 ⑧いずみ居宅 ⑨ひだまり居宅 ⑩有料百楽仙別館
- ⑪ニチイ鳥栖居宅 ⑫今村病院居宅 ⑬有料SORA ⑭タッチ居宅 ⑮有料ばんざい ⑯あんしん居宅
- ⑰鳥栖西地区包括 ⑱ふれあい居宅 ⑲有料南風Ⅰ ⑳すこやか居宅 ㉑鳥栖地区包括 ㉒ほほえみ居宅 ㉓特老真心の園

### C

- ① 上峰地区包括 ②JAいなほの郷居宅 ③特老花のみね ④花のみね弐番館居宅 ⑤特老野菊の里
- ⑥紀水苑居宅 ⑦老健夢の里 ⑧そよ風居宅 ⑨特老紀水苑 ⑩花のみね居宅 ⑪有料紀水苑別館
- ⑫三樹病院居宅 ⑬有料花の里 ⑭ひまわり居宅 ⑮みやき町包括 ⑯野菊の里居宅
- ⑰特老花のみね弐番館 ⑱おおしま居宅

### D

グループホーム協議会で現在協議中です。  
総会までにお知らせできるよう準備されていますので、  
もうしばらくお時間をいただきます。

尚、勝手ですが、事業所の数を考慮して交流会時の順番と若干変更させていただきました。  
今後とも協議会の活動にご協力お願いいたします。

# 3. 第3回全体研修会報告

けいしん居宅介護支援センター 佛坂 まり子

第3回鳥栖地区介護支援専門員協議会全体研修会を平成31年1月26日(土)に行いました。今回の研修のテーマは

「終わり逝く命を医療から介護へ委ねましょう」～CureからCareへの転換～

講師 医療法人社団五雲堂齋藤醫院

齋藤 如由 先生

今回の研修は、介護支援専門員だけでなく在宅での終末期を支える多職種の方も含め、雪が舞う週末にもかかわらず63名程の方に参加していただきました。終末医療といえば、癌を思い浮かべますが、心疾患・腎臓病、認知症等、他の疾患も多くあるにもかかわらず、緩和ケア病棟に入院出来るのは癌とエイズの患者と限定され、他の疾患の終末には緩和ケア病院の入院等は出来ない現実があります。看取りをどこで行うか、施設、自宅等の病院以外を選択する方も多くなっています。生きとし生けるものは、誰でも必ず死を迎えます。死の際の生活をどう支えるのか。終末期の生活の選択等は本人の意思も変化するため話し合いを繰り返して意思の確認することが重要です。また、伝達できなくなった場合の意思を推定する人を選定しておく等のアドバンス・ケア・プランニング(ACP)が必要であり、本人の意思の変化等に寄り添っていく必要があると説明がありました。また、事例をスライドで看取りの説明を受けながら、動ける状況から亡くなる時までの様子を見て、涙されている方も多くいました。本人の希望だけでなく家族のためにも出来るだけ家族の支えになりたいとの思いで在宅での終末を選ばれているケースもありました。残された時間をどのような生活を送り、その人らしく生き抜くために、病院ではできない事が在宅では自由に選択することが出来ます。動ける間は旅行や好きな物も食べ、会いたい人に会い家族と過ごす時間を持つこともできます。本人の思いを叶えられるように、動けない、痛み、不安等をできるだけ取り除き、穏やかに過ごせるように支えるためにも在宅医や多職種が連携する必要があると感じた研修でした。



# 4. 鳥栖地区介護支援専門員協議会研修アンケート結果

居宅介護支援事業所 なかばる紀水苑 古賀 美奈子

研修日時：平成31年1月26日（火）13時30分～16時30分

場 所：鳥栖市民文化会館 3階研修室

研 修：講演「終わり逝く命を医療から介護へ委ねましょう」

—Cure から Care への転換—

講師 齋藤醫院院長 齋藤 如由先生

参加者：63名

## 1.参加状況

- ① 性別 男性…7名 女性…50名
- ② 年齢 20代（0名）30代（10名）40代（12名）50代（21名）  
60代（12名） 70代（2名）
- ③ 基礎資格 介護福祉士：36名 看護師：10名 社会福祉士：11名  
理学・作業療法士：0名 栄養士：0名 歯科衛生士：0名  
その他資格（行政等も含む）：4名 未記入：1名  
注）介護福祉士と社会福祉士、福祉主事の重複回答あり）
- ④ 経験年数 1年未満：1名 1～2年未満：3名 2～3年未満：2名  
3～5年未満：8名 5～6年未満：4名 6～7年未満：0名  
7～10年未満：11名 10年以上：25名 未記入：2名
- ⑤ 勤務している事業所種別 居宅：31名 施設：8名 病院など：1名  
その他：16名 未記入：1名

## 2.本日の研修内容は如何でしたか

- ① 満足（54名）②満足とは言えない（0名）③どちらとも言えない（2名）  
未記入：1名

## 3.研修時間は如何でしたか？

- ① ちょうど良い（49名）②もっと聞きたかった（3名）③長かった（3名）
- ④どちらでもない（1名） 未記入 1名  
・あっという間に終わったとの意見あり。

## 4.研修の日時については如何でしたか？

- ①ちょうど良い（56名） ②悪い（1名）③どちらでもない（3名）

②を選ばれた理由

- ・平日の方が良いです。今回は Dr.の都合でしょうが…。
- ・できれば平日の研修が良いです。
- ・平日に開催してほしい。
- ・研修が土曜日の日は、早めに案内したほうが良い。

5.今後の研修で取り上げて欲しい研修テーマ・講師や講演者の希望

- ・高齢者の運転をどうやってやめてもらうか。
- ・地域の町づくりについて
- ・光岡 聡先生
- ・認知症ケア
- ・通所での医療（どこまで携わってよいのか？）
- ・ACP（アドバンス・ケア・プランニング）における緩和ケアに協力的な Dr.が、他にもおられるか（鳥栖とか）知りたいです。

6.本日の研修内容についての感想や意見

- ・おもしろかった。考えさせられました。
- ・忘れがちになる気持ちを思いおこすことができました。制度にしばられていることに気づかされました。
- ・とても勉強になりました。今後の支援に生かさなければいけないと思います。「Care」の大切さを再認識しました。
- ・とても聞きやすく、わかりやすい研修でした。
- ・とても良かったです。終末期の方の支援をすることがあまりないが、支援・かかわっていく上で大切なことを学ぶことができました。
- ・とても勉強になりました、ありがとうございました。本当に考えさせられました。
- ・自分が今後担当する方に在宅ホスピスを希望されている事例があります。とても参考になりました。
- ・人の命を考える事、すごく重く感じました。
- ・看取りのプロセスを知った上で、寄り添う最期が迎える寄り添える支援は、今後に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・理解している様で置き去りになりがちな内容にドキッとさせられました。
- ・その人を支える医師につなげることは大切と思うが難しい。
- ・死について考えさせられた。
- ・ケアマネから先生にお尋ねすることはあっても、先生からの話はあまり、ほとんどない…です。ご本人の意志がはっきり確認できる事が理想です。聴き出したいと再び思いました。
- ・末期がんの人への支援の仕方を再認識させられました。齋藤先生が在宅医で、二人の方の看取りをしたことがあります。一緒に写真を撮って下さったりして、家族に囲まれて先生のおかげで苦しみなく穏やかに旅立たれました。機会があれば、また話を聞きたいと思いました。
- ・実際の終末期の患者さまの様子や入居者の言葉、心にしみました。支えるケアを考え行動していきます。

- とてもわかりやすくお話されたので眠くもならなかったです。スライドを見るとよりわかりやすいですね。在宅ケアのあり方が。「明日行くよ」と言って死ねるなんて理想です。
- 現在も看取りのケースを担当しています。本人・家族の気持ちを支える、叶えるのは、とても難しく感じています。多職種連携、チームとしてのお互いの距離が近くなりお互い学ぶことも多いです。連続して、看取りのケースを担当すると、エネルギーを使います。
- とても興味がある演題でした。私達が家族、c1tの意志決定を支え、後押しできれば、c1tは生を全うできるだろう（大往生）。  
私にできること、まずは経験の積み重ねかな。先生のBGMが一層気持ちをたかぶらせました。
- とても有意義な講義でした。介護に対する自分の死生観を再認識しました。受講して良かったです。ありがとうございました。
- ターミナルケアをし、利用者様が亡くなられたばかりです。先生の話聞き共感できました。スライドは涙が出て感動しました。
- 死の迎え方も千差万別で、本人・家族の納得いく死の迎え方を作りあげることができる事を学ぶことができ感動しました。人から惜しまれて死に行く人になりたいと思いました。ホスピスケアが本人のみでなく、家族の満足感を支えている事がわかりました。
- 在宅介護、尊厳死、私の親、家族の事を思い浮かべながら聴かせて頂きました。これからの社会に重要な内容だと思っています。
- ケアマネが支える事は何かを考えさせられました。事例を見せて頂き自分はどんなプランを立案できるのか？支えられるプランができるのだろうかと考えさせられました。
- 終末のかかわり方を改めて考えさせられました。
- 関わりの大切さ、逃げないことの難しさ良くわかりますが…にも関わらずですが、癌患者以外の人にも通じる大事な話でした。ありがとうございました。
- 自分のケアマネとしてのあり方を、もう一度考えることができました。自分が担当したターミナルでの看取りの利用者について、もう一度考えることができました。
- 齋藤先生のように患者様に寄り添って、在宅での医療を支援されている先生が1人、また1人と増えてくれると、うれしいなと思いました。  
先生には、医療の面でのアドバイスを伺う時しか接点がない現状なので…ケアマネももっと…先生に力をかしてもらおうよう委ねる事ができればと思いました。
- 自分自身のこれからの生き方も考えさせられました。
- ACPについて、その経験をお聞きできて、大変勉強になりました。また、講演をお聞きできればと思います。
- 施設でのケア、Dr.連携考えさせられました。
- GHで看取り3件経験しましたが「旅行されたり、とかしたいこと」をたくさんできたら良かったなと思いました。これからも大往生されるように関わられるよう努力していきたい。

※上記の感想・意見につきましてはアンケートの回答をそのまま

記載させていただきました。



# 5. 介護の日フェスタの報告

平成30年10月25日(木)にサンメッセ鳥栖にて「介護の日フェスタ」が開催され、364名の参加がありました。

今回も鳥栖地区介護支援専門員協議会から、介護相談ブースを設けました。例年より多く相談者が来られました。相談対応にご協力いただきましたケアマネジャーさん、ありがとうございました。

今回の相談展示ブースは

- ・排泄相談（日本コンチネンス協会）
- ・健康相談（訪問看護ステーション連絡協議会）
- ・薬剤師会の薬の相談・つどい語ろう会
- ・福祉用具の展示や介護食品の紹介、
- ・グループホーム連絡協議会による施設紹介ブース
- ・鳥栖介護広域介護保険課によるステップアップ通所型サービスの紹介
- ・佐賀県理学療法士会による簡単な運動テストや転倒予防の相談
- ・佐賀県糖尿病療養指導士会によるフットチェック
- ・鳥栖酒害者と家族の会のアルコール体質検査や相談等々…まだまだ書ききれない程の盛り

沢山のブースが設けられました。

また、今回はケアマネ業務が得意な「とっちゃん」と「ウイントスくん」が登場！写真撮影や握手の大サービスで人気者でした。暑さや臭いと闘いながらとても頑張っていました。

記念講演は、「音楽を使った“アンチエイジング”講座」。

声楽家・音楽療育士の浦本順子氏とピアニストの富崎由紀氏による楽しい時間でした。きれいな歌声に合わせて、口や舌や手足を動かし、苦笑いをしながら、頭はパニック。脳のアンチエイジングを頑張りました。

最後の抽選会も盛り上がり、楽しいイベントになりました。多くの方が色々な形で介護について考える機会になったと思います。

次回、令和元年の介護の日フェスタですが、実行委員会の中心的役割は持ち回りの順番で、介護支援専門員協議会になります。皆様のご協力をお願いいたします。



# ちよつとひとこと

私の毎朝の楽しみはNHKの朝ドラを見る事です。

出勤前の超バタバタの時間に、朝食後の洗い物や両親のお昼ごはんの準備をしながら見ています。

3月末で終わってしまった「まんぷく」を見終わった後はいつも「よ～し今日も笑顔でがんばろう！！」と自分に言い聞かせて出勤していました。

朝ドラを習慣のように見始めてから7年！NHKの受信料は気持ちよ～く支払ってま～す！！



鳥栖地区広域市町村圏組合介護保険課 <http://www.kttnet.co.jp/tosukaigo>  
佐賀県介護保険事業連合会 <http://www.sagadensan.net/skr/>  
佐賀県介護サービス情報公開システム <http://www.kaigojouhou-saga.jp/kaigosip/Top.do>  
厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp>  
WAMNET <http://www.wam.go.jp>  
鳥栖地区介護支援専門員協議会 <http://www.tosukaigo.com/>

会報 編集委員 江口 俊 吉田 武士 鳥栖地区広域市町村圏組合  
発行責任者 赤司 利恵  
発行 鳥栖地区介護支援専門員協議会  
事務局 東町わたや薬局